

あなたと
議会を
つなぐ情報誌



大 網 白 里

議会だより

第198号

発 行 大 網 白 里 市 議 会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電話 0475 (70) 0390

発 行 人 大 網 白 里 市 議 会 議 長
小 倉 利 昭



全国市議会議長会 永年在職議員表彰



在職15年以上及び在職10年以上の区分で、本市議会から4人の議員が表彰を受けました。
(左から)小倉 利昭議員(在職10年以上)、宮間 文夫議員(在職15年以上)、
佐久間 久良議員(在職10年以上)、森 建二議員(在職10年以上)

主な内容

- 議案等の概要 2
- 【常任委員会レポート】 委員会の審議内容 3
- 【市政に問う】 3会派8人、個人5人が登壇！ 4～7
- 採決結果一覧など 8

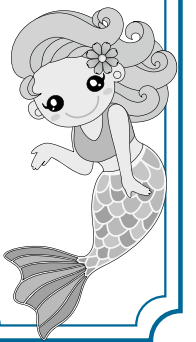
令和8年 第2回定例会が開催されました

今定例会は、6月5日から25日まで開催され、市長から提出された議案12件のほか、議長に提出された請願2件、陳情2件の審査を行いました。結果、すべて原案のとおり可決・承認とし、請願2件を採択、陳情2件を不採択としました。

また、意見書提出に関する委員会の発議案2件の提出があり、全て原案可決としました。

一般質問は2日間行われ、会派代表質問の3会派8人と個人質問の5人がそれぞれ登壇。詳細は、2ページ以降でご紹介します。

第2回定例会で審査された 議案等を紹介します



●議案第1号 専決処分の承認を求 めることについて（大網白里市 税条例の一部を改正する条例）

概要 地方税法等の一部を改正
する法律の施行に伴い、大網白里市
市税条例の一部改正を市長が専決処
分したこと、議会に対して当該
処分の報告及び承認を求めるもの

●軽自動車税（環境性能割）の廃止
により、軽自動車税（種別割）の
名称が「軽自動車税」に変更され
るため、条文を改正する

●住宅ローン減税の適用期限を5年
間延長（令和12年12月31日入居分
まで）

●家屋、償却資産にかかる固定資産
税の免税点（免税となる金額）の
引き上げ

※「専決処分」とは、地方自治
法の規定に基づき、特に緊急を
要するため議会を招集する時間
的余裕がない場合などに、例外
として議会の議決を経ることな
く市長が処理することができ
るというもの。この場合、直近に
おいて開かれる議会で処理内容
を報告の上、その承認を求める
ことが必要です。

●議案第2号 令和8年度大網白里 市一般会計補正予算（第1号） …約5億2,242万円の増額

主な内容

①ふるさと応援寄附金促進費…4億円
寄附金の増加による必要経費の増

額、寄附促進を目的として市内グル
フ場に「ふるさと納税自販機」を設
置するための経費

②小学校体育館空調設備整備事業…
約1,389万円

避難所としての機能強化を目的と
して、小学校2校（大網小学校、瑞
穂小学校）の体育館に空調設備を整
備するための経費

③トンネル長寿命化修繕計画策定事業
…約2,310万円

市内トンネル5か所の点検及び
長寿命化修繕計画を策定するため
の経費

④地域農業構造転換支援事業…
約271万円

農業用機械の導入に対する補助金
について、対象者1名増に伴う増額

⑤市営住宅施設修繕事業…
約122万円

東宮谷市営住宅の入居者退去に伴
い、入居前修繕工事を実施

⑥基金管理費…約8,150万円

歳入の増額に伴い、収支の余剰を
財政調整基金へ積み立て

●議案第3号 令和8年度大網白里市 ガス事業会計補正予算（第1号）

概要 ガス保安業務にかかる労
務単価改定のため、事前に設定され
た支出限度額を変更するもの

設定期間 令和9年度から令和11年度
（変更なし）

変更前…約6,087万円

変更後…約6,900万円

●議案第4号 大網白里市職員定数 条例の一部を改正する条例の制定 について

概要 議会の事務部局の職員の
定数を、4人から5人に改正する
もの

●議案第5号 大網白里市国民健康 保険税条例の一部を改正する条例 の制定について

概要 地方税法施行令の一部改
正により、課税限度額・軽減判定所
得の引上げを行うもの。

また、子ども・子育て支援納付金の
課税限度額・軽減額を新設するもの。

●議案第6号 大網白里市特別職の 報酬等審議会条例の一部を改正す る条例の制定について

概要 審議会委員の構成及び定数
の見直し、書面またはオンラインで
会議を開催する規定を整備するもの

●議案第7号 大網白里市行政手続 条例の一部を改正する条例の制定 について

概要 行政手続法の一部改正に
より、「聴聞」・「弁明の機会の付
与」の公示送達をデジタル化する規
定を整備するもの

●議案第8号 大網白里市再生資源 物の屋外保管に関する条例の制定 について

概要 再生資源物（金属または
プラスチック）の屋外保管事業につ

いて、市民の安全確保や生活環境保
全のため、令和8年10月1日施行と
して新たに条例を制定するもの

●議案第9号 契約の締結について

概要 市立小・中学校照明器具
LED化改修工事（大網小学校 ほ
か8校）

相手方 フィデス（株）
契約金額 2億7,878万4,000円

●議案第10号 財産の取得について

概要 消防ポンプ自動車購入
（1台）

相手方 日本機械工業（株）
契約金額 2,970万円

●議案第11号 協定の締結について

概要 準用河川金谷川改修事業
について、JR東金線の横断部
（26.1m）にかかる設計及び施工
を委託し、市から負担金を支払うた
めの協定を締結する

相手方 東日本旅客鉄道（株）
施工期間 令和8年度から令和11年度
協定金額 約16億4,600万円

●議案第12号 損害賠償額の決定及 び和解について

概要 支援措置申出者の現住所
が記載された戸籍の附票を、加害者
へ交付したことによる損害賠償額の
決定

損害賠償額 75万円

請願・陳情

●請願第1号 「国における2027
年度教育予算拡充に関する意見
書」採択に関する請願

趣旨 子どもたちの健全育成を
めざし豊かな教育を実現させるた
め、政府や関係行政官庁に対して国
の2027年度教育予算充実に求め
るはたらきかけを議会に求めるもの

●請願第2号 「義務教育費国庫負
担制度の堅持に関する意見書」採
択に関する請願

趣旨 義務教育の財政的保障で
ある義務教育費国庫負担制度につ
いて、制度を堅持し対象外経費拡
大や負担割合縮減がこれ以上行わ
れないよう、政府や関係行政官庁
に対してはたらきかけるよう議会
に求めるもの

●陳情第4号 政務活動費を使い作
成した成果物を、議会事務局で市
民に公開してもらうための陳情

趣旨 政務活動費を使用して作
成された成果物を、議会事務局で開

覧できるように求めるもの

●陳情第5号 市長を対象にした政
治倫理条例を制定してもらうため
の陳情

趣旨 市民に信頼される行政運
営のため、市長を対象とした政治倫
理条例の制定を求めるもの

議員発議

●発議案第1号 国における2027
年度教育予算拡充に関する意見
書の提出について

概要 請願第1号の採択を受
け、市議会議長名で国へ意見書を提
出しようとするもの

●発議案第2号 義務教育費国庫負
担制度の堅持に関する意見書の提
出について

概要 請願第2号の採択を受
け、市議会議長名で国へ意見書を提
出しようとするもの

Memo

・議員発議：議員から議長に提出する
議案。

市議会を傍聴しませんか

本会議及び委員会は原則公開されており、無料
でどなたでも傍聴することができます。
議場の傍聴席は先着順で30席です。
本会議は随時、委員会は開始時刻の30分前から
10分前まで傍聴受付を行います。

●傍聴のしかた

- ①傍聴受付で氏名・住所を記入。
- ②傍聴券を受け取り、傍聴席へ。
- ③お帰りの際は、受付へ傍聴券を返却。

●注意点

- ・静かに傍聴してください。
- ・議場内や会議室内では、スマートフォン等の電
源を切るか、音の出ない状態にしてください。
- ・撮影、録音等は原則禁止されています。
- ・傍聴席はインターネット中継の撮影範囲となる可
能性がありますので、あらかじめご了承ください。

●インターネット中継

本会議の映像は、インターネット
（Youtube）での中継と録画配信
でもご覧いただけます。

大網白里市議会中継

検索



常任委員会審査レポート～各委員会に付託された議案・請願・陳情～



議会
運営委員会

議会運営委員会を6月17日に開催し、付託された陳情1件を審査し、賛成少数により不採択としました。

●陳情第5号 政務活動費を使い作成した成果物を、議会事務局で市民に公開してもらうための陳情
結果…不採択

こんな意見がありました

●陳情の趣旨としては、成果物を議会事務局で閲覧できるようにしていただきたいということですが、既に議会事務局としては対応しているの、あえて採択する必要はないのではないかと思います。

- 委員長 土屋 忠和
- 副委員長 引間 真理子
- 委員 猪崎 紀人
- 委員 小井 勉
- 委員 北田 宏彦
- 委員 岡田 憲二

総務
常任委員会

総務常任委員会を6月17日に開催し、付託された議案7件と陳情1件の審査を行いました。

議案7件については、いずれも原案可決とし、陳情1件は賛成少数により不採択としました。

●議案第2号 令和8年度大網白里市一般会計補正予算(第1号)
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 今、稼働している自動販売機の寄附に対する貢献度はどれくらいか。

答 現在、季美の森ゴルフ倶楽部に設置している自動販売機では、令和6年度で1,267万円、令和7年度で1,178万円の寄附があった。



▲ふるさと納税自動販売機

●議案第4号 大網白里市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 条例なのに守らなくてもよかったのか。

答 条例と現状が合っていない状態が、必ずしも不法状態にあるとは言えないという見解が備わっている。

●議案第5号 大網白里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 対象世帯は5,000円

くらい上がると考えていいか。
答 平均すると、1世帯あたり5,500円程度上がる見込み。

こんな質疑がありました

●議案第6号 大網白里市特別職の報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 オンラインにすることで、今まで問題になっていたものが何か解決するという具体例はあるか。

答 委員の方々の中には、日程通り招集いただくことが、難しいケースが往々にしてある。

●議案第7号 大網白里市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
結果…原案可決

質疑はありませんでした

●議案第9号 契約の締結について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 今回の入札は、予定価格も調査基準価格も公表していたのか。

答 公表は、予定価格のみ。

●議案第10号 財産の取得について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 99パーセントというのは、すごく高い額だが、昨今

の状況として、消防ポンプ車が全国で高止まりしている傾向はあるか。
答 製造業者が少なくなっている、落札率が高くなっているという予想が立てられる。

こんな意見がありました

●陳情第5号 市長を対象にした政治倫理条例を制定してもらうための陳情
結果…不採択

こんな意見がありました

●議員にも市長にも、政治倫理条例は必要だという意思表示として、市長サイドの政治倫理条例は必要だということをもつて、ぜひこの陳情に賛成したい。

●議員サイドで今作っているところであり、その後市長にも作っていただきたいと思っている。

●議員第8号 大網白里市再生資源物の屋外保管に関する条例の制定について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 通報や事案の報告はあるのか。

答 直近で2件ほどあった。

産業建設
常任委員会

産業建設常任委員会を6月18日に開催し、付託された議案3件の審査を行いました。

議案3件は、いずれも原案可決としました。

●議案第3号 令和8年度大網白里市ガス事業会計補正予算(第1号)
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 令和9年から令和11年まで、3年間変更なしと言い切れるのか。

答 今回の契約は、3年間の契約なので変更ないと考えている。

●議案第8号 大網白里市再生資源物の屋外保管に関する条例の制定について
結果…原案可決

こんな質疑がありました

問 通報や事案の報告はあるのか。

答 直近で2件ほどあった。

文教福祉
常任委員会

文教福祉常任委員会を6月18日に開催し、付託された請願2件の審査を行いました。

請願2件は、賛成総員により採択としました。

●請願第1号 「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願
結果…採択

●請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願
結果…採択

こんな意見がありました

●これからの未来を担う子どもたちの教育予算というものは、地方から要望すべき内容と思う。
●未来を担う子どもたちの義務教育に対しての国庫負担を

問 自動車関係のヤードは何か所あるのか。
答 2か所ある。

こんな質疑がありました

●議案第11号 協定の締結について
結果…原案可決

問 完成予想図の看板設置をJRに要望してはどうか。

答 今後検討したい。

問 完成した後に、維持管理費は発生するのか。

答 線路についてはJRの管理、線路の下河川構造物については市の管理となる。

- 委員長 高野 祐二
- 副委員長 田辺 正弘
- 委員 土屋 忠和
- 委員 引間 真理子
- 委員 石渡 登志男



引き続き維持していただくことは、地方としても求めなければならぬ。

- 委員長 上代 和利
- 副委員長 斉藤 完二
- 委員 森建 良二
- 委員 佐久間 文夫
- 委員 宮間 憲二
- 委員 岡田 憲二

持続的な発展と魅力あるまちづくりの
実現に向けて!!

代表質問

自 民

小金井 勉 議員



金谷川河川事業の進捗状況について、これまでどの区間まで整備が完了しているのか、現在の段階にあるのか。また、今年度は具体的にどのような工事内容を予定しているのかお伺いします。

答 準用河川金谷川改修事業の進捗状況については、事業区間である460mのうち、用地取得は令和6年度までに全て完了しています。河川改修工事については、金谷川からJR東金線の手前までの203mの区間が6月までに完了する予定です。

今後の工事予定については、令和11年度までの4年をかけ、JR東金線横断区間を予定しており、施設管理者であるJR東日本へ工事の施工等を委託することで、現在手続を進めています。今年度の工事内容については、保線業務となる防護枕木やレールの交換等の移設工事を進める予定です。

問 金谷川河川改修事業は、単なる河川改修ではなく、災害時における浸水対策、道路整備等将来的なまちづくりに関わる極めて重要な都市基盤整備であります。一方、近年人件費や資材価格は高騰を続けており国際情勢の不安定化により、石油製品をはじめ資材調達にも影響が出ることが懸念されます。工事費は今後ますます上昇していく可能性が高いものと考えます。市として、改修事業をどのような意気込みで進めていくのか今後の取り組み姿勢を伺います。

答 金谷川の河道拡幅と併せて側道整備も計画していることから、可能な範囲で進捗が図れるよう努めています。

問 山辺土地改良事業の進捗状況と今後のスケジュールについて、現時

点での見通しをお伺いします。

答 令和4年2月に事業計画の採択を受け、千葉県が事業主体として土地権利者等との調整を進め、令和7年11月に換地計画原案を決定しました。今後は、令和8年に工事着手し、令和11年度の完成を目指し、工事を進めていく予定とのことです。

この事業は当初、令和10年度に事業完了となっていました。現時点で3年余り遅れています。私も地権者の1人として、工区委員会や営農部会、工事部会等様々な部会が一体となっていない部分があると感じます。県も農業事務所とまたいでいるので、答えがまとまっていなくて、ある状況です。地元地権者が頼るのはやはり市役所ですので、しっかりと共有して、今後もしっかりと頂きたいと願います。

問 企業誘致について、市は具体的にどの地域、どの場所に企業を誘致しようと考えているのでしょうか。

答 本年4月に企業誘致基本方針を策定し、圏央道大網白里SIC（※）周辺エリアと九十九里ビーチライン沿道エリアの2つの地域を戦略エリアと設定し、優先かつ重点的に企業誘致を進めます。

（※）スマートインターチェンジ

問 大網白里SIC周辺の企業誘致について、先日、熊谷知事が本市を視察された際、市長から知事にどのような要望をされたのか。どのような回答があったのかお伺いします。

答 周辺の土地利用規制の調整などについて支援を要望。県庁内の関係部局が連携し、支援を行っていききたいとの回答をいただいたところです。

その他、大網駅周辺の内水対策について質問しました。

関連質問

土屋 忠和 議員



○四天木堀川遊歩道の整備について 我が街に流れるふるさと心の心、「堀川」の堤防を市民が散策できるように、約2km整備できないのか。

答 市としては、遊歩道整備の必要性を検討した上で、堤防が通年で通行可能となるような対策を千葉県と協議してまいりたいと考えております。

○大網白里市空家等対策計画の進捗状況について

問 新たな空き家を増やさない取組みはどのように行っているか。

答 昨年度におきましては8月及び3月の2回「空家等連絡協議会」の構成団体である千葉県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会千葉県本部及び、千葉司法書士会のご協力をいただき、「空き家相談会」を開催したところです。相談会には、延べ24組の方にご参加いただき、空き家の管理や相続、売却等に関する相談に対し、専門的な立場から助言をいただいたところでございます。また、相談後の継続的な立場から助言をいただいたところがございます。また、相談後の継続的な対応も含め、参加者から好評をもらい、本年度におきましても2回の開催を予定しております。啓発資料の配布も施策の1つ。

問 空き家を減らす取組みはどのように行っているか。

答 空き家実態調査の結果を踏まえ、特定空家及び、管理不全空家に該当する恐れのある23件の空き家について、令和7年度に空家等対策協議会における審議を経て策定した判断基準を活用し、現地調査を実施いたしました。これらの空家等につきましては、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、立ち入り調査や情報提供を実施するとともに所有者に対し、適正管理及び改善に向けた助言、指導を行っているところです。

関連質問

金森 浩二 議員



市内公共交通空白地域について

4月から瑞穂地区コミュニティバス（みーバス）を運行開始して頂き、私が議員になって初めて質問させて頂いた案件が、スピーディーに形になり、市民の利便性の向上に大きな影響を与えるものと期待しております。

問 みーバスの乗客数、稼働状況を教えてください。

答 1日当たりの本数は7便で、365日運行しております。ご利用者数は、4月は636人5月は581人。2ヵ月間の1日平均利用数は、19.9人1便平均2.9人でした。

今後課題等出てくると思います。が、利用者の声にも真摯に向き合っており、対応・対策・さらなる利便性の向上に努めて頂きたい。

問 残りの市内公共交通空白地域に対して、今後の対応・対策について

答 地域公共交通活性化協議会の中で実情に合った対策を検討します。

教育行政について

今年度から小学校の給食が完全無償化を始めて頂き感謝しております。中学校でもいち早く叶うことを切に願っております。

問 白里中学校だけ他の中学校よりもお弁当持参回数が多いのはなぜでしょうか。

答 各学校において、行事や授業数の確保のため、給食が提供できない日が生じた際に保護者にお弁当の持参をお願いしているが、各学校で対応の違いがある。教育課程や行事計画などが異なっており、各校長が必要性を勘案し、実施している。教育委員会としても各校長に対し、指導・助言に努めていきます。

更に2027年インターハイバレーボール大会について質問しました。

個人質問

インクルーシブなまちづくりを実現し、
人口増加を

猪崎 紀人 議員



ちづくりについて、市長はどのように考えていますか。

市長 年齢や障害の有無、性別、国籍といった違いを超えて、全ての市民が互いに価値観を尊重し、一人ひとりが活躍できる社会の実現を目指す取り組みであると認識しています。人口減少や少子高齢化により地域コミュニティの衰退などが想定される中で、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる「住みたい・住み続けたいまち」の実現に向けて取り組んでいく考えです。

問 インクルーシブなまちづくりを庁舎全体、地域一体になって進める上で市長が考える最大の課題は。

市長 市民の皆様の理解と参加をいかに促進していくかが最も重要な課題であると認識しています。

問 本市における障害のある児童数の近年の推移は。

答 障害児通所支援を利用している児童数は、令和5年度は383名、令和6年度は443名、令和7年度は488名です。

問 本市の公共施設や公園などのバリアフリー化に対して、障害当事者の方や障害児童の保護者の方などの意見を反映させていますか。

答 高齢者や障害者の方々への意見聴取や利用者視点の反映など現在行っていますが、今後はその必要性が高まっていると考えています。

インクルーシブとは、障害の有無や年齢、属性にかかわらず、全ての人がその能力を発揮し、地域経済や社会に参画できる仕組みです。誰もが生きやすく活躍できるまちは子育て世代や移住者を引きつける最大の呼び水となり、人口減少社会における最強の戦略となります。

問 市におけるインクルーシブなまちづくりについて、市長はどのように考えていますか。

市長 インクルーシブなまちづくりを自ら進め、整備資金を企業版ふるさと納税で募り、庁舎全体、地域一体となつて進めることで人口増加に結び付けることが可能だと考えます。

※その他、包括施設管理について、ユニバーサルツーリズムの推進についてなど質問しました。

代表質問

公明党

上代 和利 議員



誰もが輝く地域共生社会を目指して

新規就農者の支援について

問 農業経営に必要な資金調達のための支援制度である補助事業の活用を千葉県など関係機関と連携して行い、また、就農後の課題等に対する支援は、農業委員会や千葉県、JA など関係機関と合同でチームを編成し新規就農者ごとに必要に応じた指導・助言・提案を行うことで、定着支援に努めてまいります。

農業法人化について

答 現在、本市における農業法人の数は、農業経営基盤強化推進法に基づいて、本市または千葉県が認定している法人数は、令和 8 年 5 月現在、16 経営体です。

複合経営を含めた営農類型は、水稻 10 経営体、露地野菜 6 経営体、施設野菜 1 経営体、その他 3 経営体が営農しています。

スマート農業技術導入について

答 導入状況は、施設野菜栽培において、ハウス内環境を最適に保ち、高品質化や収量の増加・安定化が可能になる環境モニタリング装置の導入や水稻におけるドローンによる防除の取組みがあります。今後、導入を検討されている農業者へ必要な情報提供や情報共有したうえで、スマート農業導入にかかる国、県の補助事業の活用支援などの普及、促進に努めてまいります。

大網白里市に農業ファンを増やすことについて

答 市内の若手農業者で構成する農業研究会において、市内の保育園・幼稚園・小学校の児童とその保護者を対象とした収穫体験の開催を予定しております。また、本年秋頃に、東大生地域おこしプロジェクト活動の一環として、市内の方を対象とし



た農業体験型ワークショップを開催することも予定しています。今後引き続き、市内のみならず、市外からも幅広く大網白里市の基幹産業である農業を知っていただく機会の創出に努めてまいります。

農業の支援について

答 農業者に対する農用資材等の価格高騰による支援は、国・県の動向を注視しながら農業経営への影響を緩和できる補助事業等を積極的に活用すると共に、農業者自身による自衛的な対応策など関係機関と連携して農業者へ必要な情報提供を行い、持続的な農業経営の支援に努めてまいります。

農地のマッチングについて

答 現在、農業委員及び農地利用最適化推進委員の協力のもと、農地の利用調整であるマッチングを実施するとともに、令和 7 年 3 月に策定した地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）にて、将来の担い手である耕作者の有無を可視化した目標地図の情報を受け手希望者に提供するなどの対応をしています。今後は、目標地図の効果的な活用を図るとともに農地のマッチングシステムなど、先進事例等、調査、研究をしていきます。

その他、左記 3 点についても質問しました。

- ・スマホ教室について
- ・介護施設の現状について
- ・買い物支援について

関連質問

引問 真理子 議員



問 がん検診、乳がんの早期発見、意識啓発について、脾臓がんの早期発見「尾道方式」について

答 乳がんは日本人女性の罹患率が最も多いがんであり、早期発見、早期治療が何より重要となっております。乳がんの後発年齢が 40 代後半から 60 代前半とされ検診を受ける項目として優先順位が低いものと推察されます。しかし、乳がんは年齢を問わず発症する可能性があることから、引き続き対象者に対する検診の重要性について啓発と受診勧奨に粘り強く努めてまいります。

脾臓がんは早期発見が非常に困難な疾患であり、その早期発見に向けた尾道方式の取組みは有意義なモデルであると受け止めております。リスクの高い方を早期に発見し適切な医療へつなぐ仕組みづくりは極めて重要であると認識しております。

問 带状疱疹ワクチン接種、50 代からの任意接種の助成について、50 歳以上から発症リスクが高まるため、ワクチンは早期予防の観点から 65 歳未満の人にも、一定の接種ニーズがあります。

答 本市においては 50 歳以上の方が行う任意接種の助成制度は実施しておりませんが、近隣の自治体の状況などについて検討してまいります。

問 成人の歯科健診の具体的な内容について、虫歯予防、子どもたちへのフッ化物洗口の実施について

答 成人の歯科健診が市内 14 か所の身近な歯科医院で個別受診ができる。市内の幼稚園、保育園、小学校で希望のあった園児・児童を対象に、フッ化ナトリウム溶液を用いたうがいや計 6 か所の実施、拡大に努める。
※搾乳を必要な人が、授乳室を利用できる搾乳マークの掲示を要望。

関連質問

輪島 美津江 議員



問 市公式 LINE を用いた通報システム導入について、市の見解をお聞かせください。

答 市では現在、市民の皆様への行政情報の発信について、市広報紙、ホームページ及び公式 LINE をはじめとした SNS を活用して周知に努めているところでございます。今回 LINE での情報発信をより利便性の高いものとするため、市が発信する情報の中から防災、子育て、ごみなど必要な情報のカテゴリを選択することで、欲しい情報だけを受け取るセグメント配信機能を 5 月 1 日から導入いたしました。また、発信情報の動向につきましては、これまで各担当部署から秘書広報課宛て依頼を受け、その都度配信しておりますが、迅速に情報の発信ができるように、各担当部署が投稿できる仕組みに変更したところでございます。ご質問の市民の皆様から市に対して道路破損、不法投棄及び災害時の被害情報などの通報システムの導入につきましては、LINE の運用に追加費用が発生するほか、通報を受けた場合の情報取扱いなどの現状の課題を整理しながら、近隣自治体の事例を参考に研究してまいります。

問 市内小中学校、幼稚園の防犯カメラについて、大網小学校に 1 台設置されているとの答弁でした。それでは防犯カメラ以外の防犯対策について伺います。

答 教育現場における防犯対策といえます。各小・中学校、幼稚園において策定している危機管理マニュアルに基づいて、万が一の不審者侵入時に備え年 1 回、東金警察署の協力を得るなどして実践形式の訓練を実施。実効性のある訓練に取り組んでおります。

個人質問

日本共産党

佐久間 久良 議員



高コスト、高リスク、危険で環境破壊の CCS 事業は中止するしかない

経済産業大臣が CCS 事業法に基づき、九十九里町から匝瑳市にかけて特定区域に指定。首都圏 CCS 株式会社に試掘を許可した。説明会などは各自治体であったが、事前の情報や説明がほとんどないまま進められ、市民の間では困惑と懸念の声が上がっている。CCS 事業は、京葉工業地帯から排出される二酸化炭素を 80 キロのパイプラインで九十九里の海に貯留するという事業。大網白里市もルート上にある。

問 政府が言うように二酸化炭素の削減となるのか、市長の認識を伺う。

市長 CCS 事業が CO₂ の削減につながるのかは、国はカーボンニュートラルの施策の 1 つとして位置づけている。現時点では試掘調査の段階であり、実現可能性を含め、国や県、事業者からの情報収集に努め、その動向を注視してまいります。

CCS は知れば知るほど無責任きわまりない事業である。脱炭素を掲げているが、製鉄所や火力発電所などの化石燃料依存からの脱却を先延ばしし、さらに高コスト、高リスク、安全面、環境面などで多大な問題を抱えている。

問 九十九里沖で 7 月から試掘調査が予定されている。地盤や地下資源等に与える影響はどのように考えているのか。また、日本は地震大国。千葉県沖は世界でもまれな 3 つのプレートが重なり合っている。二酸化炭素が漏れ出す危険性。地震や地盤沈下、地盤の隆起などを誘発するおそれはないといえるのか。

答 CO₂ の貯留方法は、海底深部の地層に圧入し、長期間に貯留する。周辺地盤への影響や CO₂ の漏

出、さらには地震の誘発といった懸念は、重要な課題である。事業者に問い合わせたところ、試掘調査は、貯留層の地質や周辺への影響などを把握し、安全性を評価するために実施と説明を受けた。市は、現段階において周辺地盤への影響や CO₂ の漏出等の安全性について専門的な評価を行う立場ではないが、住民生活の安全・安心は最も重要であると考えているので、調査結果や今後の検討状況を注視し、関係機関と連携して適切に対応してまいります。

千葉県の地下に大量の天然ガスが眠っている。CO₂ の圧入がガス田に与える影響など考慮されているのか、大変疑問に思う。九十九里地域は地盤沈下が止まらない。地盤沈下は年間約 2 センチ以上にも及び、不同沈下はパイプラインの溶接部やつなぎ手部にねじれや曲げ、引っぱりを継続的に加える。

問 二酸化炭素の安全性について、どのような認識を持っているのか。

答 二酸化炭素自体の安全性は、高濃度の状態では人体に影響を及ぼす可能性があるので、適切な管理が必要であると認識しています。

二酸化炭素は身近にある物質だが、危険な側面も持っている。CO₂ による死傷事故が各地で起こっている。二酸化炭素は、取扱い方によって大変危険な物質である。高圧ガスのパイプライン破断事故は、2016 年までで 25 例が報告されている。ひとたび事故が起これば大災害を引き起こすことは明らかである。導管輸送は、環境アセスメントの対象外というおまけつき。これが必要だと言えるのか。私は、到底無理だと言いたい。考えを改めるべきだと指摘しておきます。

市長の政治姿勢について

代表質問

自由民主党の会

北田 宏彦 議員



問 千葉県では2025年度採用試験に合格した1,146人のうち3割超に当たる420人が内定を辞退している。本市の職員採用状況、対応策について伺いたい。

答 令和7年度合格者は31名、辞退者は9名で、割合は29%。今後、受験可能年齢の拡大など、受験しやすい環境を整備していく。

働きやすい環境づくりや将来展望に希望を持てるよう魅力を発信し、優秀な人材確保に努めて頂きたい。

問 大網駅周辺の浸水対策について金谷川河川改修工事、小中川河川改修工事の進捗状況について伺いたい。

答 金谷川改修は、JR東金線横断部区間を予定し、JRへ工事を委託する。小中川改修は、今年度40mの護岸工事及び道面橋掛け替え工事に向け設計を予定し、残る約80mの護岸工事を早急に進めていく。

問 永田駅周辺の浸水対策について赤目川河川改修工事の進捗を伺いたい。

答 上流400m区間にある橋梁や堰の設計と調節池関連の設計を予定。県に早期完成を要望して頂きたい。

問 小中川堤防における洗掘箇所の修復工事の進捗状況について伺いたい。

答 富田堰上流左岸及び駒込橋下流、みやこ野の両岸2か所の補修工事を予定。早期の復旧を県に要望する。

県に予算を確保し河川管理するよう強く要望をお願いしたい。

問 今年度は浸水被害区域の排水路掘削は予定しているか。

答 金谷川の暗渠部、谷中川調節池、四木地区の排水路の暗渠部を予定。

問 市有地の利活用方針を伺いたい。

答 用途地域の制限や境界未確定など課題を整理し、有効活用を図る。

問 旧大網駅隣接市有地は、図書館等の複合施設の計画であったが、利活用を考えているのか。また、旧庄ぜん跡地は、後背地と一団で開発をする市の考えに基づき、売却を断った経緯がある。後背地と一団利用するには、所有者との合意が必要となるが、どう利活用していくのか。

答 旧大網駅隣接市有地は、課題が多く、利活用が定まっていない。旧庄ぜん跡地は、一部に共有名義の土地があり、課題となっている。

今後適切な対応を願うし、地権者の合意ができれば、市有地単独での売却等利活用を考えてはどうか。

問 共有資産の分割課税について本市では地方税法第10条の2第1項を根拠として共有代表者に課税し、代表者が共有者間で協議の上、納付することとしているが、他市町では特別の事情が認められる場合に、共有分割課税を行っているが、如何にお考えか。

答 他市町で、特例的な取扱いとして各共有者へ共有持分割合に応じた納付書の送付を行っている例もある。

問 相続などで親族が共有している場合は、協議も容易だが、第三者が共有の場合、納税者間の協議は難しい。特別の事情が認められる場合に限り、分割課税を適用しては如何か。

答 他団体の事例を参考に、前向きに対応を調査研究していく。

市長は、全員協議会などで、道の駅整備検討を中止すると公表した。道の駅が白里地区の活性化の起爆剤になると令和5年12月に検討委員会を設置し、延べ11回の会議を開いた。令和5年第3回定例会で「交流拠点施設の整備が必要であり、課題を整理し検討を行う」との答弁に対し

私は、「白里地区の活性化は大賛成である。高齢化率44.6%で超高齢化が進んでいる。若者が定住し、生み育てていく仕組みをつくらなければいけない。しかし、道の駅が本当に白里地区の活性化の起爆剤になるのか、果たして時代は道の駅なのか、数々の活性化策を検討した結果が道の駅という結論なのか。先般、本市の経常収支比率が99.5%と報告があり、財政の硬直化は変わらず厳しい状況が続いている。仮に道の駅が最善策だとしても財政状況が安定してから取りかかるべきではないか、物事には優先順位がある、道路などがかなり傷んでおり、草も伸び荒れている状況を見受ける。優先順位を考えるべきではないか」と意見している。市長には、漸く気づいて頂き感謝しているが、市民から思いつきや成り行きで政策を進めていると思われたいようにして頂きたい。市長の意思決定の信頼性が損なわれまます。判断を裏付ける客観的な根拠やデータに基づくことが必要だ。委員の皆さん、企画政策課職員も大変お疲れ様でした。

関連質問

田辺 正弘 議員



瑞穂地区コミュニティバス「みーバス」の運行状況について

問 令和元年第2回定例会において、私は小湊鉄道のみずほ台循環路線バスについて質問しており、この時は、みずほ台から大網駅そして日中はイオンまで行くルートでした。その後、令和5年3月小湊鉄道によるみずほ台循環路線バスは廃止になりました。みずほ台団地を含む瑞穂地区では、買い物や通院、市役所等の移動のための交通手段が無い、いわゆる交通弱者の方々が多く存在することになりました。その後も、私は要望してまいりまして、本年4月

から新たに瑞穂地区において、コミュニティバス「みーバス」の運行が開始され瑞穂地区の公共交通空白地域の大部分が解消されることになったことは、大きな前進であると思います。ぜひ地域住民の方々の貴重な移動手段として、持続可能な運行をお願いしたいと思っています。

答 瑞穂地区コミュニティバス、愛称「みーバス」は、瑞穂地区と市内中心部を結ぶコミュニティバスとして、本年4月1日から運行を開始しました。1日7便で365日運行しており、利用者は、4月は636人、5月は581人、2か月の1便平均利用者は2.9人です。最後に、利用者の降車が多い停留所は、大網駅、イオン、大網病院です。

問 大網駅周辺の排水対策について、千葉県による調査検討の結果、小中川及び金谷川の改修と併せ南玉地区幹線排水路の拡幅整備も必要との方針が示され、千葉県等関係機関と連携を図り、効果的・効率的な整備手法を定めると。

答 その検討結果として、小中川及び金谷川の改修整備に加え、新たに南玉地区の幹線排水路の整備も必要との方針が示され、これを受けて市では昨年度より、整備手法について調整池の整備や排水路の増設など検討し、今後は整備手法について、事業者等の精査も含め、9月補正予算において実施設計の費用を計上する予定です。

問 「おおあみしらさとの花火」の開催日程を今年は9月26日になぜ変更したのか、市内外のお客様は戸惑っています。なぜ変更したのか。

答 会場警備等関係者の健康面を考慮し、猛暑日避けた開催日にすべきではとの意見に加え、海の家連絡協議会から、繁忙期の開催は避けてとの要望を踏まえ、本年度の開催日を9月26日に変更決定しました。

個人質問

市民には禁煙を強いて、職員には専用喫煙所があるのは妥当か。

黒須 俊隆 議員



5月31日は世界禁煙デー、6月第1週は禁煙週間となりました。保健文化センターの階段には、大きく「なくそう受動喫煙」の掲示がされており、大変よい工夫だと感じました。

問 庁舎の喫煙所と健康増進法について質問します。

健康増進法では、市役所庁舎などは敷地内禁煙になっていきます。喫煙所に対しては細かい規定がありますが、市庁舎屋上の喫煙所は規定を満たしているのでしょうか。あるいは、健康増進法で想定されている喫煙所ではないのでしょうか。

答 平成31年1月、健康増進法において、学校、病院、行政機関の庁舎など、第一種施設の敷地内での喫煙が禁止となりましたが、例外的に特定屋外喫煙場所を設置することが認められています。

この特定屋外喫煙場所を設置するために必要となる条件ですが、1点目として、喫煙をすることが出来る場所が区画されていること、2点目として、喫煙をすることが出来る場所である旨を記載した標識を提示すること、3点目として、施設の利用者が通常立ち入らない場所に設置することの3つの条件を満たす必要があります。

本庁舎につきましては、屋上にこれらの条件を満たした特定屋外喫煙場所を設けていましたが、現在、本庁舎整備改修工事の中で屋上防水工事を実施していますことから、一時的に特定屋外喫煙場所がない状態となっています。

問 庁舎改築後の喫煙所の運用はどのようにになりますか。

答 屋上防水工事が完了した後、特定屋外喫煙場所を再設置する



計画です。

考え方は分かりましたが、原則禁煙の公共施設で、市民には禁煙をさせて職員には喫煙所があるというのが果たして妥当でしょうか。法律の趣旨からすると、職員の健康を優先する施策へ舵を切るほうがよいのではないかと私は考えます。ぜひ職員間でも議論を進めていただきたいと思います。

問 禁煙外来を大網病院はいつから始めましたか。これまでの受診者数、効果についてお答えください。

答 禁煙外来につきましては、令和7年3月より診療を開始しています。これまでに15名の方が受診しておりまして、現在も治療中の7名を除いた8名のうち5名が禁煙に成功しています。このことから、ある程度禁煙に向けた有効な支援になっているものと考えています。引き続き、1人でも多くの患者様が禁煙を達成できるようサポートを行ってまいります。

現在、本庁舎は工事中で喫煙所がないということで、2か月間も喫煙所がないと禁煙症状に襲われる職員もいると思いますから、ぜひ禁煙外来を使うように勧めていただければと思います。

個人質問

災害から市民の命を守れ。園児は津波エリアと真ん中この市はおかしい

石渡 登志男 議員



以前、津波注意報があった。注意報とは0.2mから1m、警報なら1mから3m、それ以上が大津波警報となる。注意報でも危険。人は流され、1mの津波に巻き込まれたら致死率100%だ。道の駅について

は一旦中止などと言わずはつきり中止。これがスッキリしてよい。2回目の道の駅計画は令和5年から始まり3年で頓挫。また、1回目と2回目の計画で数百万円というお金が飛んだことは事実。やはり市民にはしっかりと市は説明すべきだ。でなければ、市民は納得できない。さらに、しらすとこども園の津波避難訓練の写真が広報に載っていた。でも、0歳から5歳までの園児たちが先生と一緒に1km先の白里小に避難をする、何か違ってないか。1km先を徒歩で避難している津波避難訓練を私が見ていたら、涙が出たかもしれない。園児たちには一日も早く、安全・安心なこども園を提供していただきたい。

問 津波避難時、原則は徒歩であるが、実際は車で避難するのではないのか。車避難について、もっと現実的な事を考えてもよい。

答 現実的には車避難する方が多くなると考えますが、本市津波警報でも車避難による渋滞が発生しました。今後、国や県による避難方法の見直しがあったら、検討します。

間違いない車で逃げる、渋滞が発生する。渋滞を解消できればよい。停電による信号機が失われれば渋滞となる。ならば誘導が必要。白里小の駐車場が満車になれば渋滞となるし、海からだ白里小に右折するがそれでまた渋滞。できる限り車を遠くへ持っていく。それでも渋滞で

無理ならば車を左に寄せて徒歩で避難する。何か良き知恵を市は考えるべきだ。

問 市の指定する車中泊可能な避難所は何か所あるのか。また車中泊避難者に対する食料や飲料水、トイレはどうなっているのか。周知についてはどうか。

答 16箇所あり、収容可能な台数は、体育館で避難している方の車両も含め全体で約1,900台です。また、車中泊者は避難所に登録していただき、避難所で食料等を受け取り、トイレは避難所を利用します。周知ですが、車中泊可能な場所等を防災ハンドブックの更新時に掲載することを検討しています。

問題はトイレだ。ご自宅が大丈夫でもトイレは使えない。余震が怖くていられないからだ。熊本地震でもそうだった。ならば、車中泊する場所にもトイレを設置すればよい。

また、車のワイパーにシートを挟む、緑なら健康、赤なら医療が必要、黄色なら要介護が必要など、それを担当者が見たら、対応できる。その点を含めて考えていただきたい。

問 「おくやみコーナー」設置についてはどうか。ご家族が亡くなられたとき、本市は各窓口にて対応しているのか、故人の手続きを1か所で行えるようにしてみたらどうか。

答 ご遺族には死亡後の手続きが多岐にわたる為、負担も大きいと認識しています。各窓口で対応していますが、おくやみコーナーは検討しましたが、設置には至っておりません。おくやみコーナーを設置し手続きをスムーズに、ご遺族に対してそのような寄り添う気持ちがあってもよい。その辺りも考えるべきだ。

個人質問

市の財政。新清掃工場特別助成金について

岡田 憲二 議員



問 市財政について。現在、本市の経常収支比率は。

答 令和6年度決算において前年度比0.1ポイント増の99.9%となった。

問 100%に至った場合はどのようなになりますか。

答 100%を超えると人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費が市税や地方交付税などの経常的な収入で賄えていない状態となる。この状態が長く続くと、施設の整備や市独自の事業が実施できなくなるおそれがあります。

問 財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標である実質公債比率は、国が定める基準を下回っていますか。

答 本市の実質公債比率は、令和6年度決算において前年度比0.3ポイント増の9.6%となったところ。実質公債比率については地方債の償還額の大きさを地方公共団体の財政規模に対する割合で表した指標。数値が大きいくほど健全性が損なわれているということになるが本市は法律の定める早期健全化基準の25%を下回っており、適正な水準にある。

問 これ以上状況が悪くなるなどのようになりませんか。

答 毎年度、国へ報告している決算統計調査において関連する指標が国の定める基準に該当する場合、県のヒアリング対象団体となることがある。本市においては平成28年度以降経常収支比率が3年平均でないし単年度で95%以上の団体という項目に該当しており、その原因などについてヒアリングを受けているところ。

直近では令和7年10月に受け、本市が進める持続可能な財政運営に向けた取り組みについての進捗状況の確認のほか、市税徴収の強化、使用料などの受益者負担の適正化、大網病院への操出金の対応などに対し指導や助言を受けている。

令和5年に東金市外三市町清掃組合の正副管理者、随員職員1名が環境省へ赴き、新ごみ処理施設整備事業について今後新たに活用可能な国の補助制度の有無を確認した。当時対応された環境省次官の発言記録を読み上げます。①訪問日時 令和5年12月18日11時～12時5分。②訪問先 環境省事務次官、廃棄物適正処理推進課長補佐。③訪問者 清掃組合管理者、副管理者、随行者。④訪問目的 当組合における新ごみ処理施設整備事業について、急激に高騰した事業費の現状を説明し、財政負担軽減のため、今後新たに活用可能な国の補助制度の有無を確認するため環境省を訪問した。⑤訪問結果 補助制度については現行どおりであり、変更の予定もなく、これ以上組合の財政負担が軽減されるような補助制度はないとの回答。

環境省側発言 一般廃棄物は自治体の責任において処理しなければならず、財務省も同様の意見。補助してもらうのは当たり前だと思わないでほしい。全国で焼却施設が2万2,000か所のうち、今後100か所が廃止を予定。令和7年度以降は査定を行い、減額や不交付となるところもあるかもとの意見をいただいた。これから国は温暖化対策として、二酸化炭素を排出しないカーボンニュートラルに重点を置き支援していく。

令和8年市議会第3回定例会会期日程(案)

開催日	開始時刻	内容
8/31(月)	10:00	第3回定例会 開会 ・行政事務報告、議案上程ほか
9/3(木)	10:00	一般質問
9/4(金)	10:00	一般質問
9/7(月)	10:00	一般質問
9/10(木)	10:00 13:00	議案質疑・委員会付託 政治倫理検討会議 総務常任委員会
9/11(金)	10:00 13:30	文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会
9/14(月)～16(水)	9:00	決算特別委員会
9/25(金)	10:00	第3回定例会 閉会

※上記はあくまでも予定であり、変更となることもあります。

山武郡市議会議長会視察研修会
@茨城県常総市・日立市

令和8年7月9日・10日に開催された視察研修会に、市議会から小倉議長と森副議長が参加しました。

常総市では、農産物の生産・加工・流通、販売の機能を集約した産業団地「アグリサイエンスバレー常総」、地域交流拠点の「道の駅 常総」を視察。日立市では、日立グループ(日立製作所)の挑戦と技術開発の歴史を展示する「日立オリジンパーク」を視察しました。



▲「日立オリジンパーク」視察の様子

令和8年市議会第2回定例会 採決結果一覧		
出席議員の総員が賛成した議案等		
議案等番号	件 名	結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（大網白里市市税条例の一部を改正する条例）	承
議案第2号	令和8年度大網白里市一般会計補正予算	可
議案第3号	令和8年度大網白里市ガス事業会計補正予算	可
議案第4号	大網白里市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第6号	大網白里市特別職の報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第7号	大網白里市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可
議案第8号	大網白里市再生資源物の屋外保管に関する条例の制定について	可
議案第9号	契約の締結について	可
議案第10号	財産の取得について	可
議案第12号	損害賠償額の決定及び和解について	可
請願第1号	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採
発議案第1号	国における2027年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可
発議案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	可

賛否が分かれた議案等																					
※結果欄の意味は次のとおりです。「○」＝賛成 「×」＝反対 「欠」＝欠席 「可」＝可決 「同」＝同意 「否」＝否決 「採」＝採択 「不」＝不採択 「棄」＝棄権 「承」＝承認 「認」＝認定 「適」＝適任と認める ※議長は、採決に加わりません。		結 果	齊藤	金森	高野	輪島	猪崎	土屋	引間	上代	森	小倉	小金井	佐久間	北田	石渡	田辺	宮間	黒須	岡田	賛
議案等番号	件名		完育	浩二	祐二	美津江	紀人	忠和	真理子	和利	建二	利昭	勉	久良	宏彦	登志男	正弘	文夫	俊隆	憲二	成
議案第5号	大網白里市国民健康保険税条例の一部を 改正する条例の制定について		可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	×	○	○	○	○	15
議案第11号	協定の締結について		可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	16
陳情第4号	政務活動費を使い作成した成果物を、 議会事務局で市民に公開してもらうための陳情		不	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	×	×	×	×	○	○	3
陳情第5号	市長を対象にした政治倫理条例を 制定してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×		×	○	×	×	×	×	○	○	3	

議 会 日 誌

令和8年5月

29日 議会運営委員会
全員協議会

5日 市議会第2回定例会開会

10日 一般質問 3会派8人

11日 一般質問 個人5人

17日 議案質疑・委員会付託
議会運営委員会、政治倫理検討
会議

18日 総務常任委員会
文教福祉常任委員会
産業建設常任委員会

25日 議会運営委員会
全員協議会
市議会第2回定例会 閉会

6日 議会だより編集委員会

9日・10日 山武郡市議会議長会
正副議長視察研修

24日 山武郡市議会議長会議員研修会

請願・陳情の受付

請願・陳情は、議会事務局において随時受付しています。
議会に提出された請願・陳情は、その内容を所管する常任委員会等での審査を経て、本会議で採択の可否を決定します。
なお、本会議での採決の結果は、提出者にお知らせします。
また、採択となった請願や陳情については、市長など関係機関に送付しています。
※令和8年第3回定例会で審査される請願・陳情は、8月21日（金）午後5時まで受け付けます。

編集後記

梅雨も明け、夏本番を迎える季節となりました。
編集委員として議会だよりの作成に携わる中で、改めて感じるのは、市民の皆さまの声が議会活動の原点であるということです。
議会では様々な立場や考えから議論が交わされますが、その根底にあるのは地域を良くしたいという想いです。私たち議員には、市民の皆さまが日々の暮らしの中で感じていることや地域の課題、将来への思いを受け止め、その声を市政へ届ける責任があります。そして、その一つひとつの積み重ねが、未来を担う子ども達へ、より良い大網白里市を引き継ぐ事に繋がるものと考えています。
本号が議会を身近に感じて頂くきっかけとなれば幸いです。
齊藤 完育

議会だより編集委員会

委員長 岡田 憲二

副委員長 猪崎 紀人

委員 齊藤 完育

委員 引間 真理子

委員 田辺 正弘

議会事務局 TEL(70)0390

市議会は、1年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。
議会だよりでは各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上すべてを掲載することができません。本会議の内容をご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室（保健文化センター12階、中部コミュニケーションター、白里公民館）で会議録をご確認ください。